

2 課題研究講習会

2.1 課題研究セミナー

(1) 研究開発の課題（研究概要・ねらい）

課題研究の内容を時間をかけて討議をすることで、課題研究に取り組む生徒の姿勢や技術を高めることができる。

(2) 研究開発の経緯

課題研究に取り組む生徒が身近な目標が持てるように、発表の機会が少ない時期を選んで年3回実施している。

ア 研究の内容 課題研究についての討論、実験講習等

イ 連携先 名古屋大学先進科学塾の先生方

ウ 参加生徒 第2回 生徒31名（熱田2名、岡崎8名、向陽4名、一宮17名）、
教員8名（熱田1名、岡崎2名、向陽1名、加茂ヶ丘1名、一宮3名）

エ 日時・場所 第1回 平成26年8月10日（日）台風の為当日中止

第2回 平成26年12月14日（日）9:30～16:30 名大理学部南館多目的室

第3回 平成27年3月15日（日）（計画中） 名大理学部南館多目的室

オ 実施内容（第2回）

9:30～9:40 開会挨拶・活動班作成用アンケート（MI）

<課題研究のディスカッション（前半）>

9:40～10:05 (1) 光速度の測定（一宮）

10:10～10:35 (2) リーゼガング現象（岡崎）

10:40～11:05 (3) α 線の測定方法とそれに基づく

放射線ホルミシスデータの再評価（熱田）

11:10～11:35 (4) 青の洞窟の研究（一宮）

11:40～12:05 (5) 黄色ショウジョウバエの色覚の研究（岡崎）

<課題研究のディスカッション（後半）>

12:50～13:15 (6) ペットボトルが奏でる音の研究（向陽）

13:20～14:45 (7) 液体の粘性と音速の測定／蝸牛のナゾ（熱田）

14:50～14:15 (8) シャボン玉で見る光の干渉（一宮）

14:20～14:45 (9) 摩擦ルミネッセンスの研究（岡崎）

<「紙コップの不思議」(探究活動事例体験)>

14:50～16:40 「紙コップの不思議」

16:40～16:45 ディスカッション、アンケート記入、閉会



生徒の発表の様子

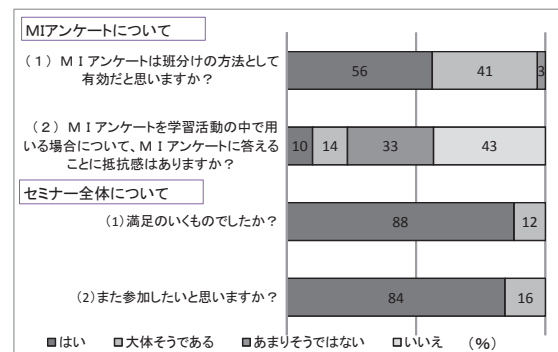
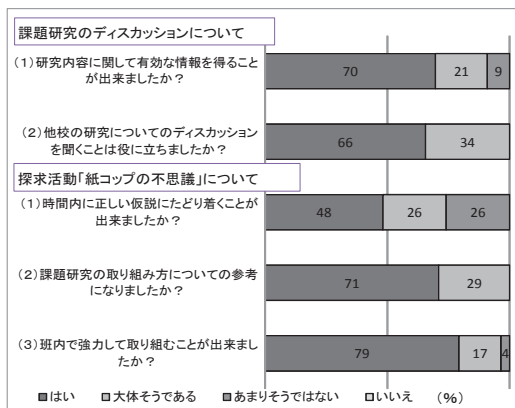
始めに9件の課題研究について議論した。その後、探究活動に関するスキルの向上を目的として、観察結果をもとに考察して結論を導き出す探究活動の教材「紙コップの不思議」を体験した。

また、ここでは、活動班の班分けの方法として京都教育大学村上研究室のMIを試行した。

カ 検証（成果と反省）

アンケートから、この取組が、課題研究に取り組む力を高めていることが分かる。

班分けの手法MIについても肯定的な意見が多かった。



生徒の感想から

- ・他校がどのような研究をしているかが分かり様々な指摘もいただけたのでとても良かった。
- ・ディスカッションはとても有意義で、探究活動はとても楽しかったです。是非、もっと続けて欲しい。